

第14回 河川生態学術研究発表会

開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

河川生態学術研究会では、生態学と河川工学の研究者が共同で川のあるべき姿を探ることを目的として、生態学的な観点より河川を理解するための研究活動を実施し、河川の本質の理解を深め、新しい河川管理に資する総合的な研究を進めています。現在5つの河川別の研究グループ及び河川総合研究グループが活動しています。この度、応用生態工学会との共催によりこれらの研究グループによる研究成果等を一同に会して発表し、幅広い意見交換と情報共有の場として研究発表会を開催いたします。

この研究発表会が研究者、現場技術者、コンサルタント、NPOの方々など、様々な活動内容と立場の皆様
の参加を得て、更なる研究の充実、質の向上を図る場となりますよう、多数のご参加をお待ちしております。

敬具

平成23年10月吉日

河川生態学術研究委員会 委員長 谷田 一三
応用生態工学会 会長 近藤 徹

記

開催日時・会場:

日時：平成23年11月17日(木) 10:30～17:45

内容：各研究グループの研究発表（口頭発表・ポスター発表）

場所：発明会館ホール（別図を参照）

東京都港区虎ノ門2丁目9番14号

TEL：03-3502-5499

東京メトロ銀座線	虎ノ門駅	3番出口 / 徒歩5分
東京メトロ日比谷線	神谷町駅	4番出口 / 徒歩6分
東京メトロ千代田線	霞が関駅	A13番出口 / 徒歩13分

募集人員：90名

申込締切：定員になり次第

主催：

河川生態学術研究会，応用生態工学会

問い合わせ先：

財団法人リバーフロント整備センター内 河川生態学術研究会事務局

担当：坂之井 和之、伊藤 将文、内藤 太輔

Tel：03-6228-3860

Fax：03-3523-0640

E-mail：ito-m@rfc.or.jp

開催プログラム

I.	開会挨拶	河川生態学術研究会委員長 国土交通省河川局長（予定）	10:30～10:35 10:35～10:40
II.	各研究グループの研究発表		
	1.	河川総合研究グループ 座長（島谷 幸宏 代表）	10:40～11:10
		・ 概要報告	計 30 分
	2.	岩木川研究グループ 座長（佐々木 幹夫 代表）	11:10～11:55
		・ 概要報告	計 45 分
		・ 十三湖における土砂・物質動態と環境形成システム（仮題） 望月 貴文（国土交通省 国土技術政策総合研究所 環境研究部 研究官） 藤田 光一、天野 邦彦（国土交通省 国土技術政策総合研究所）	
		・ 岩木川下流域の河川敷におけるヨシ原の生態に対する人為的攪乱の影響 齋藤 宗勝（盛岡大学 栄養科学部 教授） 竹内 健悟（青森市立浪岡北小学校）、齋藤 信夫（青森市教育研修センター）	
		***** 昼 食 *****	11:55～13:30
		〔ポスターセッション（講演会場外）〕	11:55～13:30
	3.	千曲川研究グループ 座長（中村 浩志 代表）	13:30～14:15
		・ 概要報告	計 45 分
		・ 千曲川における魚類調査の結果 中村 浩志（信州大学 教育学部 生態学研究室 教授）	
		・ 千曲川河道掘削工事による鳥類への影響の地域間比較 笠原 里恵（東京大学大学院 農学生命科学研究科 生態環境調査室共同研究員）	
	4.	多摩川研究グループ 座長（星野 義延 代表）	14:15～15:00
		・ 概要報告	計 45 分
		・ ハリエンジュ林の食物網特性の解明 加賀谷 隆（東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教） 宮下 直、津田 大輝、高木 俊（東京大学大学院 農学生命科学研究科） 丹羽 慈、畠瀬 頼子（財団法人 自然環境研究センター）	
		・ カワラノギクの生態と保全活動 倉本 宣（明治大学農学部応用植物生態学研究室 教授） 岡田 久子、芦澤 和也、横田 篤典、篠原 啓樹（明治大学 農学部）	
	5.	五ヶ瀬川水系研究グループ 座長（杉尾 哲 代表）	15:00～15:45
		・ 概要報告	計 45 分
		・ 氾濫原の植生環境変動及び流下堆積物にตอบสนองするほ乳動物の生息確率・行動予測システムに関する研究 岩本 俊孝（宮崎大学）	
		・ 五ヶ瀬川・北川感潮域におけるカニ類の生息環境と保全(仮) 伊豫岡 宏樹（福岡大学）	
	6.	十勝川研究グループ 座長（中村 太士 代表）	15:45～16:15
		・ 河川景観ネットワークの連結性と時空間変化 -システムの脆弱性と頑強性の解明-	計 30 分
		***** 休 憩 *****	16:15～16:25
III.	総合討論		16:25～17:40
	座長	佐々木代表（岩木）、杉尾代表（五ヶ瀬）	計 75 分
	登壇者	中村太士代表（十勝川）、星野代表（多摩川）、中村浩志代表（千曲川）、 辻本委員長（技術援助委員）、江崎委員（技術援助委員）	
IV.	閉会挨拶	応用生態工学会技術援助委員会委員長	17:40～17:45
	終了後、懇親会（会場より徒歩1分）を開催		18:00～19:30

ポスターセッションプログラム

会場： 発明会館 受付前ホール
セッション時間： 11:55 ~ 13:30
ポスター閲覧時間： 10:30 ~ 16:40

[は発表者]

1. 岩木川研究グループ

岩木川水系の炭素輸送と水質形成過程

岩田 智也 (山梨大学 工学部 循環システム工学科 准教授)

占部 城太郎、鈴木 孝男、富樫 博幸 (東北大学大学院 生命科学研究科)

小岩 直人 (弘前大学 教育学部)

柴田 英昭 (北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター)

十三湖底質の細菌群集

木村 紀昭 (弘前大学大学院 農学生命科学研究科 院生)

畠山嘉人、東信行、殿内暁夫 (弘前大学大学院 農学生命科学研究科)

2. 千曲川研究グループ

千曲川中流域における基礎生産量の面的推定 - モデル計算からのアプローチ

傳田 正利 (独立行政法人土木研究所 水環境研究グループ)

萱場 祐一 (独立行政法人土木研究所 自然共生センター)

戸田 任重 (信州大学 理学部 物質循環学科 教授)

千曲川中流域における川面飛翔性水生昆虫相の解明

平林 公男 (信州大学 繊維学部 応用生物学系生物資源・環境科学課程 教授)

3. 五ヶ瀬川水系研究グループ

五ヶ瀬川と北川の一次生産を支配する質的制限因子の比較検討

鈴木 祥広 (宮崎大学工学部 土木環境工学科 准教授)

北川・五ヶ瀬川の生物相における流域地質の影響 - カニを対象として -

皆川 朋子 (福岡大学 工学部 デザイン工学科 助教)

4. 多摩川研究グループ

多摩川における群落複合の分布パターンとその変遷

篠原 光礎 (東京農工大学 農学部 地域生態システム学科 院生)

吉川 正人、星野 義延 (東京農工大学 農学部 地域生態システム学科)

多摩川中流域において剥離して流下する藻類由来の有機物負荷量の推定

岡田 久子 (明治大学 農学部 客員研究員)

倉本 宣 (明治大学 農学部)

渡辺 泰徳 (立正大学 地球環境学部)

松浦 克美 (首都大学東京 理工学研究科)

5. 応用生態工学会会員有志

(2名ほど、有志による発表を予定)

第 14 回 河川生態学術研究発表会 会場案内

日 時 : 平成 23 年 11 月 17 日(木) 10:30 ~ 17:45

開催場所 : 発明会館ホール

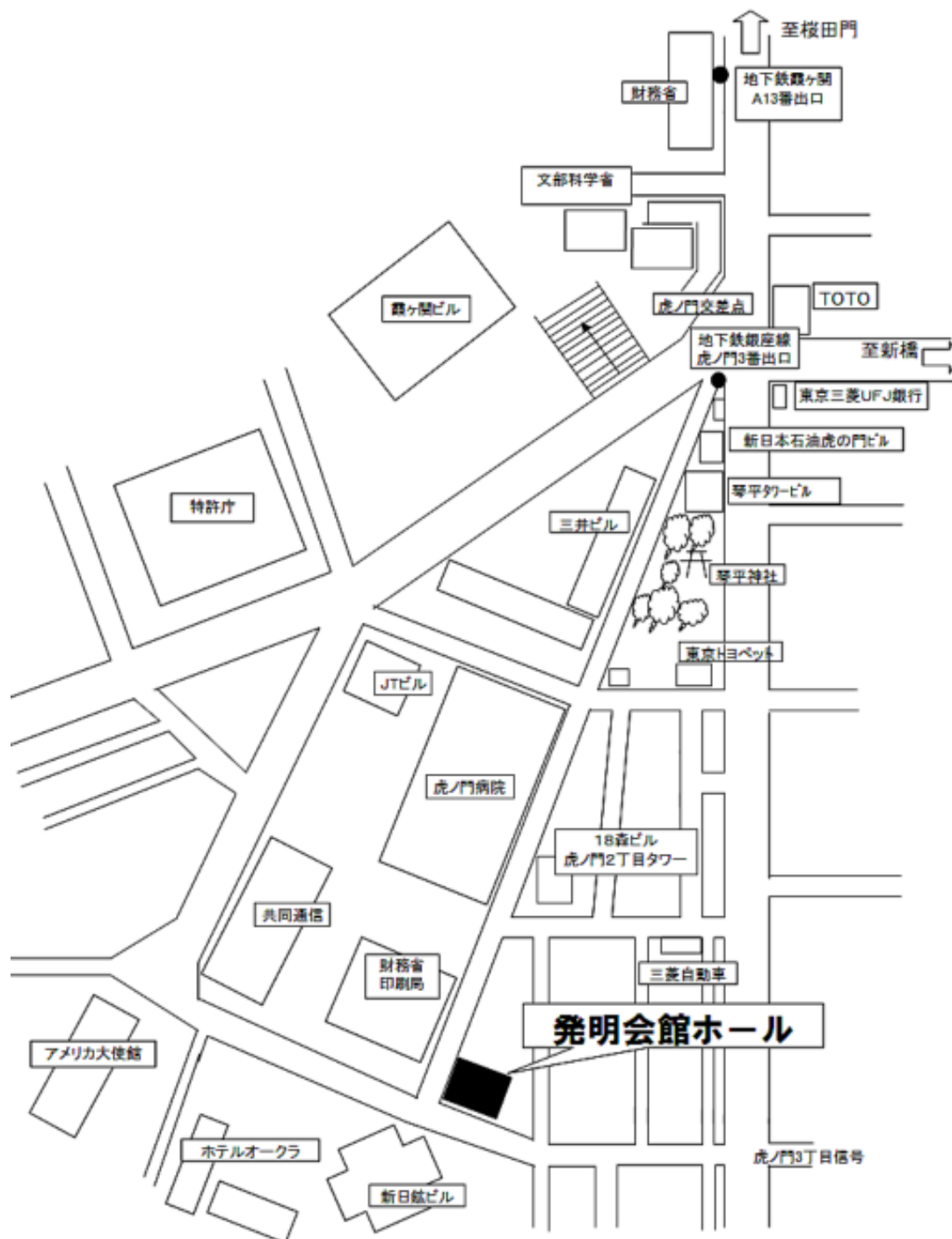
東京都港区虎ノ門 2 丁目 9 番 14 号

TEL : 03-3502-5499

東京メトロ銀座線 虎ノ門駅 3 番出口 / 徒歩 5 分

東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4 番出口 / 徒歩 6 分

東京メトロ千代田線 霞が関駅 A13 番出口 / 徒歩 13 分



会場位置図

会場に駐車場はございません。車でお越しは、ご遠慮下さい。